

割寄故左大臣藤原家封穀壹伯漆拾壹斛漆斗五升半給主八十五斛八斗七升五合、納官八十五斛八斗七升五合、

右依民部省天平十年十一月十四日符割充如件、

定官參仟捌伯捌拾陸斛漆斗壹升

合官納租穀肆仟壹伯漆拾捌斛壹斗肆升振入三百七十九斛八斗一升

定參仟漆伯玖拾捌斛參斗參升

○按ズルニ、故左大臣ハ武智麻呂ヲ謂ヘルナラン、武智麻呂ハ、天平九年七月乙亥、左大臣ニ拜

セラレ、即日薨ゼリ、此ハ其位封タルト職封タルトヲ詳ニセズ、但シ歿後ニ係レルヲ以テ、減半

シテ給セシナラン、

歿後不收封

〔續日本紀十武〕天平二年四月辛未、始置皇后宮職、施藥院、令諸國以職封并大臣家封戶庸物充原脫

據一本補、價、買取草藥、毎年進之、

○按ズルニ、皇后ハ藤原安宿媛ニシテ、不比等ノ女ナリ、大臣ハ即チ不比等ナリ、養老四年、右大

臣ヲ以テ薨ジ、太政大臣ヲ贈ラレ、是ニ至リテ十年ヲ歴タリ、其間長屋王ノ外ニ大臣ニ陞レル

者ナク、長屋王薨ジテ後、是年マデ大臣ニ見任セル者ナシ、故ニ此ニ謂フ所ノ大臣ハ不比等タ

ルヲ知ル、

〔愚管抄〕關白太政大臣基經仁和三年十一月十九日、詔萬機巨細百官總已告關白、然後奏下、一如人並如故、大臣又

如故、在位二十年、

〔日本紀略六〕天祿三年十一月十日丙寅、奏故太政大臣伊藤薨之由、詔贈故太政大臣藤原朝臣

正一位中食封資人並同平生、

貞元二年十一月廿日丙午、奏故太政大臣藤原薨由中詔贈正一位中食封資人並同生日、

〔日本紀略九〕正曆三年七月十五日丙午、詔贈故太政大臣藤原朝臣爲光正一位、封相摸國、爲相摸